



大 輪

発行：島根県社会福祉協議会内
島根県知的障害者施設保護者会連合会
松江市東津田町 1741-3
いきいきプラザ島根 5 階
TEL 0852-32-5976 FAX 0852-32-5982

VOL. 47

令和元年12月発行

盲重複障害者について

島根県知的障害者施設保護者会連合会運営委員 三島 昇治



私の家族がお世話になっている施設(しのめ寮)は、視覚障害と、知的障害やその他随伴障害の重複障害者施設です。今回は盲重複障害についてお伝えしたいと思います。少しでも理解してもらえればうれしいです。

盲重複障害とは、例えば視覚障害と知的障害等、その他随伴障害(てんかん・聴覚障害・精神障害)が重複し、重度化した障害のことを言います。また、成長期に適切な対応がされなかったために生じる「二次障害」、すなわち作られた障害が加わり、重度化するケースもあります。

受障時期が早期であればある程、視覚経験が無い、または少ないために、成長発達に必要な視覚情報が得られません。その結果、生活上の様々な場面でマイナスに作用し、体験不足による不適応状態が目立ってしまいます。

加えて知的面での理解力や判断力にも障害が見られる場合、情緒が不安定となり適応障害に陥る事もあります。「1+1=2」のような単純な足し算ではなく、相乗作用によってそれぞれの障害が複雑に絡み合った状態といえます。

それは同時に、支援の困難性も増すことであり、障害の程度を画一的に判断することが極めて難しい状態なのです。

しかし、盲重複障害者は素晴らしい才能を有しており、周囲の環境や専門的な支援によりその才能を必ず開花させる事ができます。

盲重複障害者の支援は2~3年で成果が出るものではなく、個々の障害状況に合わせて、5年、10年と長期的な支援が必要です。個人の可能性に着目し、尊厳を守り、その人のライフステージを通じた支援や環境を、どのように設定するかが非常に重要となります。障害の特性を理解し、よき環境を提供することで、盲重複障害者の社会参加を保障することができるのです。

全国盲重複障害者福祉施設研究協議会の中に保護者会があり、北海道から宮崎までの24施設で年1回全国大会が開催され、今年は長崎県でありました。来年は島根県であります。

全国知的障害者施設家族会連合会の全国大会もあり、年2回は大変ですが参加しています。来年はぜひ皆様もご参加ください！



しのめ寮 有田誠治さんの作品
「ねんどでキラキラアート」

大会報告

10月
7・8日

第15回全施連全国大会 in みやぎ

大会テーマ「福祉の後退を許さない！～真の共生社会を目指そう～」

○東日本大震災復興報告

宮城県連 会長 大野真知子 氏

○行政説明 「障害保健福祉施策の動向」

厚生労働省障害保健福祉部

障害福祉課 小林靖 課長補佐

○講演：「地域共生ホーム」

全施連顧問：宗澤忠雄准教授（埼玉大学）

小賀久教授（北九州市立大学）

南守副理事長

○全員参加型討論会：

「知的障害のある人のこれからの住まいと暮らし」

課題提起：由岐徹理事長、奥澤時宗（千葉県連会長）



全国の加盟県各地から約320名の参加者があり、島根県から6名が参加いたしました。

1日目の講演会は、念願でありました提言パートⅡ「地域共生ホーム」発刊直後の大会であり、この本の構成と要旨、また活用方法、さらには施設の点検シートの活用方法など、意義深い講演でありました。

2日目の討論会は、宗澤、小賀両先生からの助言もあり、活発な意見交換となり、様々な施設の実情を理解すること共に今後の諸活動に生かせる有意義な討論会でありました。

最後には、大会決議文の採択が行われ、下記の通り決議されました。

第15回全施連全国大会決議

全国知的障害者施設家族会連合会は、2019年(令和元年)10月7・8日二日間にわたって仙台市において、第15回全国大会を開催し、一人で暮らすことが困難で、家族の支援も確実に失っていくなか、制度としてこれ以上の福祉の後退は許されないという想いから、障害福祉制度が知的障害のある人、その家族が安心して託せる制度になることを願って全国から集い語り合いました。充実した公的支援制度の実現が願いです。現在、福祉政策のパラダイムの転換が起きています。「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現政策は介護保険制度、障害福祉に「共生型サービス」を創設し、縦割りから横割り政策に転換し、障害福祉と介護保険制度の一体化、統合が図られようとしています。

私たちは障害者の権利を守り、障害のない人と同等の暮らしができることを求め、次の事項を本大会の決議と致します。

決 議

1. 24時間切れ目のない支援で快適に安心・安全に暮らせる障害者支援施設を新設し、グループホームの質を充実してください。
2. 支援の制限に繋がる支援区分は本人に必要な支援が受けられる仕組みに変えて下さい。
3. 安定して必要な支援が受けられる支援職員の配置基準の見直しと定員増と職員の処遇改善を急いで下さい。
4. 知的障害者の特性を熟知し、福祉職の専門家としての施設職員を育成して下さい。

5. 生活保護費以下の障害基礎年金の引き上げ、憲法に保障された公的責任を果たして下さい。
6. 障害福祉制度と介護保険制度との一体化・統合には反対します。
7. 国及び地方公共団体は、知的障害者への障害福祉サービスを提供する義務を負うこととして下さい。

2019年(令和元年)10月8日

一般社団法人 全国知的障害者施設家族会連合会

感想

全施連全国大会 in みやぎ に参加して

ふたば園家族あゆみ会 川島 久雄
山田 稔實

全国大会 in みやぎに参加させていただきました。

「福祉の後退を許さない！」～真の共生社会を目指そう～をテーマに盛大に開催されました。家族会の会員も年々高齢化が進み、今年の参加者は320名余りとなってしまい寂しい限りです。

全施連は、知的障がいのある人が少しでも暮らしやすく安定した生活が保障される社会の実現を目指して活動してきました。今年の大会は、この10数年余りの活動から生まれた、真の共生社会を目指す「地域共生ホーム」を道しるべに、新たな決意で迎える全国大会となりました。

知的障がいのある人のこれからの暮らしが、「地域共生ホーム」が示すようなものになることを願っています。

親なき後を心配しなくてもよい社会、わが子が成人すれば親、家族は役割を終え、社会がその役割を担ってくれる、そんな社会が実現する活動をみんなで進めていきましょう。

社会福祉法人上口福祉会 まがたま家族会 飯島 献一

第15回全施連全国大会に参加させていただきました。

障害をもつ子の親として、我が子のことを思い描きながら2日間とても有意義でためになる時間を過ごすことができました。

今回は『地域共生ホーム』という全施連の提言をメインテーマとして報告、討議がなされました。その中で大きくふたつのことが課題として私の中に浮かびました。一つは「施設臭」や「ロールペーパーのないトイレ」のある施設に、本心としては大切な我が子を預けたくはありませんが、お世話になっているという引け目からなかなか気持ちを伝えられない現状があること。もう一つは施設職員の過重労働や安い人件費に例をみるように、我が子が自律して暮らしていくためには、国の障害者福祉施策の問題点を共有し改善していく必要があること。これらの課題を個人ではなく、家族会として施設職員と相談協力しながら改善策を見出していき、また福祉施策の問題点も話し合いながら行政や社会に声をあげていかなければならないと感じました。今後は非力ながらも他人事とせず家族会や全施連の取り組みに関わっていきたいと思えます。

最後になりましたが、今大会に参加させていただき、島根県家族会の皆様とも親睦できたことに感謝して、障害をもつ当事者および家族の皆様の幸せを願い報告とさせていただきます。



全員参加型討論会



会食しながら情報交換会

令和元年度しまね県民福祉大会

9月
21日

第1部 式典

表彰された方々

おめでとうございます！

○島根県知的障害者保護者会連合会 会長表彰

功労者：川島 久雄 氏（ふたば園家族あゆみ会）
 美濃地 淳二 氏（希望の里保護者会）
 小泉 義則 氏（くるみ祈幸会）
 渡部 泰正 氏（若幸会家族会）
 稲田 久住 氏（仁寿会家族会）

感 謝：天理教石破分教会（清風園推薦）

○島根県社会福祉協議会 会長表彰

社会福祉団体等役員功労者：
 福間廣明 氏（雲南市）
 [本会理事]



第2部 講演

テーマ：地域活性化の決め手はこれだ！
 「ご近所の底力・取材活動から」

講 師：フリーキャスター 堀尾正明 氏

NHK 番組「問題解決ご近所の底力」のキャスター時代の取材から、防犯(空き巣狙い)被害をなくす取り組みをした町の例など、地域のコミュニケーションの大切さを楽しくお話されました。



県(障がい福祉課)との意見交換会報告

要望事項などの進捗状況など質疑を交わす！

去る令和元年11月11日(月)午後1時30分より、県庁第二庁舎101会議室にて、島根県健康福祉部障がい福祉課との意見交換会を開催しました。

この意見交換会において、連合会からは①障害福祉行政の基本的な考え方②平成30年度要望事項(医療費助成制度等)に対する検討状況と進捗状況③全施連発刊の「地域共生ホーム」に対する所感などについて伺いました。

これに対し、障がい福祉課長及び担当者より説明ならびにコメントがありましたが、連合会からの要望、意見にそれぞれ一定の理解を示しながらも、これまでの見解・回答の域を出ない説明にとどまりました。

また、全施連の提言パートⅡ「地域共生ホーム」については、さらに勉強させていただき、福祉行政の参考にさせていただきたい旨のコメントを得ました。

連合会としましては、年度内に改めて島根県への要望事項を取りまとめ、申し入れを行う予定です。



(島根県知的障害者施設保護者会連合会・運営委員会)